

森に行かなくても、海に行かなくても… ネイチャーゲームなら

ダイナミックな自然体験が園庭でできる!

本物の自然体験は

森や海に出かけて行かないと

「できない」と思っていないですか。

じつは…近くの公園や園庭でも

深い自然体験をすることができます。

見て見て、

先生!

ネイチャーゲームは

自然体験の少ない先生でも

簡単にできるアクティビティの宝庫。

子どもたちと一緒に外に出て

今日から、自然の冒険仲間!



園庭は 大自然!



学童期に伸びる“考える力・行動力”の基礎は、幼児期の感動体験の質と量が大きく影響します。

ネイチャーゲームで、毎日が感動体験の嵐。

少子化、都市化に加え、幼児期から、さまざまな習い事をする子どもも多く、最近の子どもたちには『三つの間（仲間・空間・時間）』がないといわれています。家庭での外遊びの時間はこの20年あまりで激減しました。スマートフォンやタブレットを使った気軽にできるゲームの普及は、そのことに拍車をかけています。

外遊びを通して自然に触れ合い五感を使うこと、集団遊びのなかで人間関係の基礎をつくること、それらが今、幼稚園や保育園などに求められています。

一方、幼児期の自然体験の必要性を理解していても、日々の活動のなかではなかなか十分な体験を提供できない…という話もよく聞かれます。

雄大な自然がなくても、園庭や住宅街の小さな公園などで、深い自然体験はできます。五感を使うことで、身近な場所が大自然に変わり、多様な命を感じる感動体験の宝庫になる…それが『ネイチャーゲーム』です。

「自然体験」「自然教育」を行う…と、難しく考えなくても大丈夫。『ネイチャーゲーム』は、先生が子どもと一緒に自然のなかでたくさんの発見をして、ともに学べるようにつくられたプログラムです。

ネイチャーゲームの創始者ジョセフ・コーネルは「自然と接する最初の段階で、ハッと胸を打たれる体験、脳裏に焼きつく体験をすることが大切」といいます。「先生」「子ども」の垣根を取り外し、明日からは子どもたちの冒険仲間!

土に触れる楽しさを知って
地球を大切に思える子を



静岡県 早出幼稚園
園長 荒巻太枝子

土を「汚い」と言って触れないのに「地球の温暖化が心配」という小学生はたくさんいます。環境への配慮を日々の生活や自分の地域の中で考えることができるようになるためには、まずはネイチャーゲームなどを行って身近な自然とちゃんとふれあい、向きあえるようになることが大切。それが、幼児期の環境教育の第一歩です。

ネイチャーゲームやってよかったコラム

ネイチャーゲームは、多様な“生きる力”を育てます

自然から子どもたちが学ぶこと。それは、生物の知識や自然のしくみだけではありません。とくに幼児期の自然体験では、自然の知識よりも、自然への愛着、観察する力、自然や友だちへの配慮、意見交換をしながら他者と何かを達成する力など、生きるための基礎力が養われるといわれます。

この時期に良質な自然体験を行って「発見する喜び」や「試す確かめる体験」を持つこと。それは、好奇心や探究心を育み、科学的な見方や考え方の芽生えをつちかうなど、子どもの能力を大きく広げていきます。

自然の知識の伝達だけではなく、楽しく活動を行うなかで、さまざまな生きる力を育むようにつくりだされている。それが『ネイチャーゲーム』なのです。

虫が苦手な新米先生も明日から「自然の先生!」

自然体験を!といわれても、先生自身の自然体験がない…というケースもあります。でも、幼児期の子どもに自然体験を行う時にいちばん大切なことは、先生自身の自然に対する知識や経験量でも、すぐれた体力でもありません。子どもの気持ち・感性・気づきを受け止めること。そして、感動をわかちあう姿勢です。

ネイチャーゲームの特徴のひとつは、『フローリング』という手法<熱意を呼びおこす→感覚をときずます→自然を直接体験する→インスピレーションをわかちあう>での構成。自然の知識が少ない方でもすぐに行えるようにつくりだされた、優秀なプログラムです。

体験を重ねていくにしたがい、子ども自身が自然とのつきあい方を自ら学んでいく。先生に求められるのは、しっかりと寄り添うこと。新米先生も、明日からすぐに「自然の先生」。



ネイチャーゲーム指導の5ポイントは
“幼児教育の理念”にも当てはまるともいわれています。

教えるよりもわかちあおう/受け身になろう/チャンスを逃さないで/
体験第一、解説はあとで/楽しさは学ぶ力

指導の5ポイント

（ネイチャーゲームが育む子どもの力）

- 協力してつくる力
- 楽しみながら考える力
- 自然を観る力
- 自然への愛着
- 他者への配慮



幼稚園・保育園などにお勧めの「ネイチャーゲーム」例

くらべる・見つける力を育む
○ 同じものを見つけよう



概要 ● 事前に、園庭など、体験を行う場所から一つずつ拾っておいだ「葉っぱ」「木の実」「石」「枝」などの自然物を子どもたちに見せ、よく覚えてもらい周囲から同じものを探してくる活動です。

効果 ● 「見つけたい」という意欲を引き出し、見つけることの楽しさを味わうアクティビティです。自然物を比べて観る力を養います。

色の違い・多様性を知る
○ 森の色あわせ



概要 ● 探す「色」を決め、その色と同じ色のものを自然のなかから探してきます。集めたものをみんなで見比べ、どこにあったどんなものなのかをシェアする活動です。

効果 ● 自然の色の美しさに気づき、同じように見える色の微妙な違い、多様性を認識することができます。

日本シェアリングネイチャー協会は
子どもと自然のより良い関わりを目指す園・先生を応援します。

まずは、あなたの園で体験してみませんか？

当協会では全国に広がるネットワークを活用して講師を派遣します。
園庭や近くの公園で、子どもたちと一緒に『ネイチャーゲーム』を体験してみませんか？

TEL. **03-5363-6010** 月～金曜日 ● 10:00～17:30
土・日・祝 ● 休み

e-mail jimukyoku@naturegame.or.jp

ホームページでもお問い合わせを受け付けています

<http://www.naturegame.or.jp/contact/> トップページ/
「ご意見ご要望」をクリックしてください

お問合せ先

ご相談・お申し込みなど、お気軽にご連絡ください。

ご自身が運営・勤務する園で

ネイチャーゲームを取り入れたい…とお考えの方のために

たしえば

1

まずは、
ネイチャーゲームを
体験したい場合

ネイチャーゲームの
講師をよぶことで

園庭や近所の公園で身近な自然を五感で楽しむ方法を子どもたちと先生と一緒に体験できます。ネイチャーゲームの効果も実感。

たしえば

2

ネイチャーゲームの
実施方法を知りたい、
保育士・教諭の研修として
取り入れたい場合

ネイチャーゲーム
入門講座を受講すると

ネイチャーゲームの実践方法を実習と講義で学ぶことができます。受講の翌日からネイチャーゲームを園の活動に取り入れられます。

たしえば

3

ネイチャーゲーム
リーダーになって
園で取り組みたい場合

ネイチャーゲームリーダー
養成講座を受講すると

2～3日間の講座で、ネイチャーゲームの理念や実践方法を詳しく学び『公認ネイチャーゲームリーダー』の資格が取得できます。

『ネイチャーゲームモデル園、
認定事業が始まりました。』

自然体験を取り入れている園を応援します！

「より充実した自然体験を提供できる園」として、公認ネイチャーゲームリーダーが3名以上勤務する幼稚園・保育園・こども園を認定しています。モデル園での活動を当協会のホームページで紹介したり、モデル園同士の交流を通してより良い自然体験をサポートします。詳しくはお問い合わせ。

全国に広がるネットワークを生かして日本各地で活動を行うことができます。

公益社団法人
日本シェアリング
ネイチャー協会

『ネイチャーゲーム』をはじめとするシェアリングネイチャー活動の普及本部として各種事業を推進しています。

都道府県
シェアリング
ネイチャー協会

全国47都道府県に設置（設立準備会含む）。地域に根ざした普及活動を行っています。

活動グループ

地域の活動グループや加盟団体が、学校・公民館・身近な公園などで活動を行っています。



自然に寄りそう 未来につなぐ

公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-13-17 ワークスナカノ 2階

Tel. 03-5363-6010

Fax. 03-5363-6013

<http://www.naturegame.or.jp/>



ジョセフ・コーネル Joseph Cornell

ネイチャーゲームの創始者。1950年米国生まれ。野外活動インストラクターを経て、1979年『Sharing Nature with Children』発表。現在、世界的なナチュラリストとして活躍。米国カリフォルニア州のアナンダ村で自然と調和する暮らしを送っている。シェアリングネイチャーワールドワイド会長。日本シェアリングネイチャー協会名誉会長。

